

第3次府中市保健計画及び府中市食育推進計画の基本理念

これまでの計画で大切にしてきた考え方を継承しつつ、新型コロナウイルス感染症の感染拡大等により今後起こり得る健康課題や、生活様式の変化への対応等、市の保健・食育を取り巻く現状と課題を踏まえ、事務局で作成した基本理念（案）を示します。

（1）第3次保健計画（健康ふちゅう21）の基本理念（案）

①新たな基本理念（案）のポイント

- 市民一人ひとりが健康課題を自分ごととしてとらえ、主体的に健康づくりに取り組むことで、健康寿命の延伸をめざす。【継承+推進】
- 健康づくりに必要な知識や技術を地域全体で共有し合いながら、個人、関係機関、企業、行政が一体となって健康づくりを広げるまちを目指す【継承】
- 日常生活を営む上での三密（密集、密接、密閉）の回避や、働き方の新しいスタイル（テレワーク、オンライン会議など）など、「新しい生活様式」の考え方を踏まえ、情報発信の方法やコミュニケーションの図り方、社会活動の再開の仕方など、市民の健康づくりに向けて新たな取組を展開し、また、今後起こり得る健康課題についても柔軟に対応する必要がある【コロナ関連】
- 健康情報の発信や啓発、ライフステージの特性に応じたきめ細やかな対応、健康管理の実践、市民や関係機関、企業とのさらなる連携により、市民の健康づくりを推進する【市の課題】

②新たな基本理念（案）

つなげよう健康の環^わ ～世代を超えてつながる健康なまち府中～

（2）第3次府中市食育推進計画の基本理念（案）

①新たな基本理念（案）のポイント

- ライフステージごとの取組を継続し、食の大切さの理解、心身の健康づくり、社会との交流を市民が実践できるようなまちを目指す【継承】
- 食事の場面における「新しい生活様式」の考え方（対面ではなく横並び、会話は控えめになど）を踏まえ、市民の食育の推進に向けて新たな取組を展開する必要がある【コロナ関連】
- 健康的な食生活に対する意識の啓発、ライフステージを通じた切れ目のない取組、食に関する他機関との連携により、市民の食育を推進する【市の課題】

②新たな基本理念（案）

ひろげよう食の環^わ ～食ではぐくむ健康なまち府中～